

平成24年6月27日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成24年度 第1回 教育文化・環境清流合同部会

◆ 6月27日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成24年 第1回 教育文化・環境清流合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成24年6月27日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：副会長、部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 教育文化・環境清流合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

(1) 平成24年度事業計画・同予算&実施内容【資料1】

(2) 多摩川夢の桜街道：桜の札所巡り事業【資料2】

①3/24：「“多摩川夢の桜街道”と語り会」※

第1部：シンポジウム～細野助博会長、平野啓子副会長、ダニエル・カール副会長、

第2部：語り会～語り部・平野啓子副会長（調布市グリーンホール・大ホール）

②3/24～4/15：おおた さ・く・ら ういーく（スタンプラリー&ガイド付きウォーク～大田観光協会、美しい多摩川フォーラム、ほとバス）

③4/4：多摩川夢の桜街道“美しき桜心の物語”の語り会（十五番・妙法寺〈世田谷区〉～語り部・平野啓子副会長）※

④4/5：桜ウォーキングⅠ：ガイド付き桜の札所巡り（野川沿いの紅枝垂れ桜・都立武蔵野公園・都立野川公園～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守）※

⑤4/6：桜ウォーキングⅡ：第3回駅からハイキング（羽村・福生～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール）※

⑥4/13：桜ウォーキングⅢ：ガイド付き桜の札所巡り（多摩森林科学園～美しい多摩川フォーラム、クラブツーリズム、大谷桜守）

⑦4/18：桜ウォーキングⅣ：ガイド付き桜の札所巡り（広徳寺・光厳寺・龍珠院～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守）

- (3) 東北・夢の桜街道：桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料3】※
第1回“美しき桜心の物語”の語り会（4/21：三春滝桜～語り部・平野啓子副会長）
- (4) 平成24年度総会開催（5/27）
- (5) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施（5/31～6/27）【資料4】
- (6) 第40回調布市環境フェア出展（6/2）【資料5】
- (7) 第5回多摩川一斉水質調査実施（6/3）【資料6】
- (8) 多摩川“水”大学講座（5/18、6/8）【資料7】
- (9) 平成24年度「食と地域の交流促進対策事業」第1回実行委員会（6/15）【資料8】
- (10) 国土交通省国土政策局：平成24年度「官民連携主体による地域づくり
推進事業」応募（6/18）【資料9】

～以下、当面の予定～

- (11) 美しい多摩川フォーラムの森（青梅）下刈イベント（6/30）
- (12) 第2回食と文化の交流イベント（7/7：農林水産省関東農政局交付金事業）【資料10】
- (13) 多摩川っ子（第5号）発刊（7月中旬）
- (14) 狛江古代カップ第22回多摩川いかだレース参加（7/15）【資料11】
- (15) 多摩川“水”大学講座（7/20、9/21）
- (16) 第5回子どもカヤック体験教室開催（7/21）
- (17) 多摩川1万人の清掃大会参加（8/5）
- (18) 第4回炭焼き体験と水辺の交流会開催（8/17）
- (19) 平成24年度「食と地域の交流促進対策事業」第2回実行委員会（9/10）
- (20) カヤック体験教室（9/17：農林水産省関東農政局交付金事業）

4. 意見交換

- (1) 平成24年度活動計画等について【資料1】
- (2) 都市農山村の文化交流について【資料8】
- (3) 多摩川教育河川事業について【資料12】
- (4) その他

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成24年度第1回教育文化・環境清流合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

(大田区 都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長 高橋 義博 様)

高橋と申します。4月に現在の職につきました。仕事柄、大雨の時に氾濫防止のため多摩川に出向くことが多いので、多摩川は荒れたイメージが強いのですが、大田区でも水辺の楽校等の授業が始まりますので、違う顔の多摩川を見ることができれば良いと思っています。よろしくお願いいたします。

(昭島市 環境部 環境課 水と緑の係 菊地 和也 様)

菊池と申します。昭島市にも水辺の楽校があり、市民が主体となって運営しており、市が事務局をやっております。他にも農業用水の管理をやっております。よろしくお願いいたします。

(トップツアー 立川支店 アシスタントマネージャー 中屋 祐一郎 様)

中屋と申します。私は生まれが東京昭島市で、川に近い所で育ち、河川敷等で遊びました。現在も川崎市多摩区で、多摩川に近い場所に住んでおります。多摩川を身近に感じながら、また仕事でも多摩川的环境素材を利用した旅行事業を展開できればと思いつながら、参加させていただきました。よろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。以上3名の方が新たに部会に出席されます。また、第1回地域経済活性化部会にオブザーバーとしてご出席され、まもなくフォーラム会員になるNPO特定非営利法人 地球野外塾の萩野眞理様です。

(萩野様)

萩野と申します。地球野外塾は、早稲田大学探検部に所属していたOBの方が、子どもたちに自然体験をさせたいという目的で立ち上げられました。もともとは、20年前に多摩川の水質調査をしようと、上流から下流まで水質調査をしながらカヌーで下った経緯がありますが、2004年にNPOとして発足し、それ以来、毎年多摩川上流から大田区羽田までカヌーで下る活動をしています。他にも多摩川で色々な活動をさせていただいていますが、今回、美しい多摩川フォーラムさんにご縁があつて参加させていただいております。よろしくお願いいたします。

2. 部会長挨拶

(平野副会長)

細野会長から、教育文化部会長のお話をいただき、当初は役不足ではないかと躊躇していたのですが、お引き受けすることにいたしました。普段、色々な会議に出席することが多いのですが、意見を言うことが多く、皆さんの意見をまとめながら進めて

いく会議の司会は、まだ慣れておりません。色々と不手際があるかと思いますが、一生懸命やってみようと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(渡邊環境清流部会長)

今年の総会で、環境清流部会長に指名されました。大役を仰せつかり、皆さまのご期待に応えられるよう頑張ってみようと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

私はもともと大学で環境科学の授業を担当しておりましたので、環境には長年関心を持っております。特に多摩川一斉水質調査については私の専門分野ですので、電気伝導率の測定等、ご協力できると思います。他にも、「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」がありますが、水質を良くするには森林が大事なので、皆と一緒に活動してみようと思っております。よろしくお願いいたします。

3. 経過報告

(事務局)

今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに(2)番①、③、④、⑤、(3)番をビデオにまとめておりますので、後方のスクリーンをご覧ください。

(2) 多摩川夢の桜街道：桜の札所巡り事業

①3/24：「“多摩川夢の桜街道”と語り会」

③4/4：多摩川夢の桜街道“美しき桜心の物語”の語り会

④4/5：桜ウォーキングⅠ：ガイド付き桜の札所巡り(野川公園)

⑤4/6：桜ウォーキングⅡ：第3回駅からハイキング

(3) 東北・夢の桜街道：桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)

第1回“美しき桜心の物語”の語り会

— ビデオ放映 —

いかがでしたでしょうか。本日は、ビデオでご紹介した桜の札所の写真パネルをいくつか展示しておりますので、後ほどゆっくりご覧ください。

経過報告を続けます。

(2) 多摩川夢の桜街道：桜の札所巡り事業【資料2】

- ・ 本日ビデオの映像にはなかったのですが、【資料2】の4枚目に「くにたち桜守と歩く、多摩川夢の桜街道～三十八番札所・多摩森林科学園」とあります。こちらの桜のイベントにつきまして、吉丸園長より一言ご感想をお願いいたします。

(吉丸様)

4月13日(金)、くにたち桜守の大谷さんと参加者の皆さんに当園を訪問していただきました。今年は桜の開花が遅れており、心配したのですが、4月中旬でしたので、何とか咲いてくれました。当園には沢山の桜の種類があり、平年ですと3月下旬から4月下旬まで約40日間にかけて咲くのですが、今年は4月中旬から20日間の間に凝縮されて咲きました。ですので、今年参加された皆さんは幸運だったのではないかと思います。

(事務局)

有り難うございました。続きまして、お忙しい中、ボランティアで桜の語り会にご出演いただいた平野副会長から、イベントについて補足説明等がございましたらよろしく願いいたします。

(平野副会長)

総会でもお話をさせていただいたので、補足的なことは余りないのですが、ちょうどタイミング良く、とうきゅう環境財団様からのご依頼で、機関誌「多摩川」の巻頭言を書かせていただきましたので、そちらをお読みいただければと思います。

ビデオをご覧の通り、ものすごく寒い日だったにも関わらず、事前にお申込みいただいたお客様が、復興の応援をするため休まず来てくださり、その多くの方にお泊りいただいたため、当日三春町の宿泊施設は一杯になりましたし、三春町で宿を取ることが出来なかった方は郡山にお泊りいただき、旅行でお金を落とすという形で応援をしてくださいました。お客様のお陰で目的を果たせました。

もうひとつ、余り表に対して言うことではないので巻頭言には書きませんでした。三春滝桜の会場で、別のイベント準備も行われていました。そちらは生中継も絡んでいたもので、スタッフは100人近くいました。一方、我々のイベントは、考えられないくらい少ない人数で会場準備を進めていました。通常ですと、1つの役割に1人であるのに対し、こちらは1人が何役もこなしていました。当日、花の咲き具合をトークの中で話したく、楽屋で支度中に情報を得たかったのですが、その情報をスタッフが走って届けてくれました。会場は平地ではなかったもので、相当大変だったと思います。こういった大きなイベントを、10人足らずのスタッフでできるのは奇跡的なことではないかと思います。桜のイベント以外でも同じ状況なのではないか、事務局に相当負担がかかっているのではないかと思いました。今後、皆で力を合わせてどのように負担を軽くできるかを考えなければならぬと感じました。

復興に関しては、報道等で「震災から1年」と良く言っていますが、震災から1年経って何が変わったかという、地元の人たちがその雰囲気慣れて、受け入れられるようになっただけで、他は余り変わっていないのではないかと思います。

3月に調布で行われたシンポジウムですが、震災後、刻一刻と、お客様の求める需要が変わってくるのは、被災地だけではなく東京でも同じで、単にエンターテイメントを求める状況ではありませんでした。そのシンポジウムで「防災」をテーマに取り込んだところ、主に多摩全域の消防関係者にご来場いただきました。おかげで防災に対する気持ちもひとつにでき、多摩川で活動している団体があることを、地域を守る消防の方に認識していただけました。せっかく繋がりができたので、「多摩の物語」の中の「防災」を一層強固にしていきたいと思います。

(5) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施 (5/31~6/27)【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。ご覧のとおり、東急百貨店ホームページのトップページに紹介されており、今年は5月31日より6月27日まで、東急百貨店本店など8店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコ・チャリティー」イベントが開催され、東急百貨店オリジナル「渋谷のしっぽ」ラバーミラーチャーム(渋谷名物のハチ公をモチーフにしたもの)が販売されています。色はピンクとブルーの二種類で、価格は200円です。本日、サンプルをお持ちしましたのでどうぞご覧くださいませ。
- ・ これは、東急百貨店のCSRの一環として企画されたもので、今年で3回目となります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

(6) 第40回調布市環境フェア出展 (6/2)【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、6月2日に開催された第40回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査や美しい多摩川クリーンキャンペーンなど、環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

(7) 第5回多摩川一斉水質調査実施 (6/3)【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点の結果を速報としてお届けするものです。今回も、上流の山梨県丹波山村から最下流の河口の0キロポストまで多摩川水系の流域75地点の調査を実施いたしました。なお、詳細な調査結果レポートは、例年どおり11月に発刊する予定です。
- ・ 採水した75地点のうち、河口付近の10地点については、今年も山崎副部長にご協力をいただきました。有り難うございました。一言よろしくお願いたします。

(山崎教育文化副部長)

マップ状になっている水質調査結果の速報を見ると、中流より上流に行けばとてもきれいです。下流に行くと、黄色が多くなっていますが、それでも十分きれいです。数値だけで言えば、多摩川は長良川や四万十川よりもきれいなんです。我々が周りに多摩川がきれいなことをどんどん発信し、皆に遊びに来てもらえるようにしていければ良いのではないかと思います。

(事務局)

渡邊部長、この件で補足説明がございましたらお願いいたします。

(渡邊部長)

CODの数値も大事ですが、水温・気温も大変重要です。水温は、東京都の科学研究所でも調査しています。下水処理され多摩川に流された水は、高度処理されているのできれいなのですが、水温が高くなっています。冬の気温5℃に対し、水温が10℃となっています。魚や生物は、水温によって適する生物、適さない生物があります。拝島を境とした上流は、低温で生息できる環境(生物A)で、拝島橋から下流は、コイやフナなどの生物が適する(生物B)環境基準を作っています。水温が上がることによって生態系が影響を受けています。

電気伝導率については、ところどころで急に数値が高くなる場合があります。サンプルの採り方も関係していると思いますが、下水処理場の水が排出される場所では急に高くなります。平井川でも3年間測定しましたが、多摩川上流や秋川の水に比べて高くなっています。これを調べると、硫酸イオンが高く、カルシウムが多いことが分かりました。下流に行くと、海水が混じってくるので当然電気伝導率は上がります。数値によって、海水がどのあたりから交じってきているのかも分かります。下水処理場の水が入ると、窒素が高くなります。東京湾に窒素やリンが入ると、赤潮や青潮の問題が出てきます。かといって多摩川に下水処理水を流さないわけもいきません。高度処理すれば窒素等は取り除けますが、莫大な費用がかかります。今後の課題だと思います。

(8) 多摩川“水”大学講座(5/18、6/8)【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。これは、今年度の新規事業で、調布市共催のもと、5月18日に開講しました。講師に、小倉副会長を迎え、講座を通じて、水環境のリーダーを養成していくことをめざしたいとしています。

(9) 平成24年度「食と地域の交流促進対策事業」第1回実行委員会(6/15)【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。平成23年度、24年度の2カ年にわたる農林水

産省関東農政局の交付金事業です。具体的には、去年の3月に応募し、23年度に実施をし、24年度についても交付金の申請を行い、許可が下りました。

- ・ 24年度の活動を始めるにあたり、第1回目の実行委員会を開催しました。第2回食と文化の交流イベントは、7/7に開催する予定です。詳しい年間スケジュールは、資料をご覧ください。詳細については後ほど説明いたしますが、本案件の実行委員長であります、小澤運営委員より一言お願いいたします。

(小澤運営委員)

この事業は、奥多摩郷土弁当&スイーツと、民話の掘り起こしが2本柱です。これは一見関係がない、別々の事のようにでしたが、前回の会議で、民話の物語を弁当の中に混ぜて商品化していこうという面白いアイデアも出てまいりました。美味しいだけでなく、色んな意味で多摩川や奥多摩を表現できるものがいずれ完成するのではないかと楽しみにしています。ぜひご期待ください。

(10) 国土交通省国土政策局：平成24年度「官民連携主体による地域づくり推進事業」応募(6/18)【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。この案件は、5月28日に国土交通省国土政策局より発表されたもので、1,000万円程度の委託調査事業を、24年度中に実施することが前提となっております。募集内容をみると、美しい多摩川フォーラムが推進している「東北・夢の桜街道プラン」にピッタリ当てはまり、また、応募締切が6月18日と時間がなかったこともあり、急遽、細野会長と相談し、18日に何とか応募資料を提出したところです。なお、今月末には応募結果が通知される予定です。

～以下、当面の予定～

(11) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅) 下刈イベント(6/30)

- ・ 青梅市立西中学生を対象に、昨年オープンイベントを開催した、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)において、来たる6月30日に下刈イベントを開催します。

(12) 第2回食と文化の交流イベント(7/7：農林水産省関東農政局交付金事業)【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。語り部・平野副会長にご出演いただき、東北復興支援を絡めたグリーン・ツーリズムを行います。こちらについて、何か補足説明等がございましたら、平野副会長よろしくお願いたします。

(平野副会長)

昨年の暮れ、事務局と一緒に宮城県の「おりぎの森」に下見に行っていました。この時は、お店のご主人の乗りが良くなく、『「語り」の会なんかやってどうするの』という反応で、ショックを受けて帰ってきました。しかし時間が経つにつれ、ようやく前に乗り出してくださり、打ち合わせの際に話していたポスターやチラシについても、先方から「いつ作りましょう？原稿は？」と催促までしていただきました。また、震災直後、陸前高田から「おりぎの森」がある町に避難していた方々がいらっしやり、その中のお一人が津波に関する絵本を書かれたので、当初決めていた演目の他に、その絵本を読んでほしいとオファーまでありました。みんなの気持ちが前向きになり、熱がこもれば、間違いなく成功すると期待しています。

私に関わるとどうしても「語り」ということになってしまいますが、普段商品化している「語り」を出す分については、品質は保証できると思っておりますので、「語り」という部分が多くなってしまふことをお許しいただきたいと思ひます。

(14) 狛江古代カップ第22回多摩川いかだレース参加 (7/15) 【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。今年も当フォーラムよりダニエル・カール副会長、狛江市職員、フォーラム事務局が乗り込み、出艇します。皆さん、ぜひ、会場に足を運んで、応援をよろしくお願ひします。

(16) 第5回子どもカヤック体験教室開催 (7/21)

- ・ 今年も7月21日(土)、カヤック体験教室を、青梅市、青梅市カヌー協会と共催します。

(18) 第4回炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8/17)

- ・ 今年8月17日(金)に青梅市と共催で開催いたします。竹炭焼き体験と水辺の安全学習を実践する、親子参加型の交流会を予定しております。

(事務局)

9月17日(月)に開催する、農水案件のカヤック体験教室についても、会場手配の関係から、青梅市と共催とさせていただくことができました。青梅市環境政策課の田中係長、3つの案件を含めて一言お願ひいたします。

(田中様)

青梅市は、美しい多摩川フォーラム事務局がある青梅信用金庫さんの“お膝元”でありながら、なかなか親水事業等についてこちらから能動的な動きができない中で、地元の企業がこういった活動を推進されており、後から相乗りをさせていただくのは

厚かましいことですが、青梅市で少しでもお手伝いできることがあればということで、ご協力をさせていただいています。今後ともよろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。事務局からの経過報告は以上です。

(平野副会長)

事務局からの報告で、何かご質問、ご意見等はございますか。

(山崎副部長)

狛江市が22年間続けている「いかだレース」ですが、去年は私もいかだに乗船しました。非常に暑い日でしたが、関係者の応援もあり、楽しいイベントでした。フォーラムの会員の人たちにも、ぜひ参加してもらいたいと思います。色々な団体が、色々な自治体と色々な形で融合して協力体制が取れば、素晴らしいと思います。

(平野副会長)

他に何か質問等はございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。

4. 意見交換（部会長）

(平野副会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(1) 平成24年度活動計画等について【資料1】

(事務局)

- ・ 【資料1】をご覧ください。5月27日（日）に、当フォーラム平成24年度総会が無事終了し、会員の皆さまには、終了した報告と資料をご郵送しておりますが、簡単に説明させていただきます。
- ・ まず「平成24年度事業計画・同予算」ですが、収入の部の会費収入として1,900,000円、寄付金として青梅信用金庫様より8,000,000円、交付金として農林水産省関東農政局より2,199,000円、助成金として青梅市より287,000円となっており、前期繰越金1,708,726円を合わせて、収入合計14,094,726円となっています。
- ・ 一方、支出の部ですが、運営費として「総会」350,000円ほか合計で3,250,000円、活動費として「夢の桜街道・札所巡り事業」650,000円ほか合計で9,779,000円、次期繰越金（見込額）の1,065,726円を合わせて、支出合計14,094,726円となっています。なお、網掛けで表示している「多摩川“水”大学講座」は新

規事業案件となっています。また、活動費の一番下に記載している「東北・夢の桜街道プラン」1,700,000円ですが、これは、東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。

- ・ 次に、「平成24年度事業計画の実施内容について」ですが、「経済」「環境」「教育文化」の3本柱に沿って一覧表にしています。先ほども申し上げましたが、「環境」⑦の「多摩川“水”大学講座」が新規事業となっています。
- ・ 次に、「平成24年度事業計画の趣旨説明」ですが、本年度は、農水省案件や東北復興支援案件等、大型案件が重なっているため、既存事業の継続実施が基本となっております。

(平野副会長)

それでは皆さん、何かご意見・ご質問はございますか。ないようでしたら、次に進めます。事務局の方から説明してください。

(2) 都市農山村の文化交流について【資料8】

(事務局)

- ・ 【資料8】をご覧ください。先ほど少しご説明させていただきましたが、平成23年度、24年度の2カ年にわたる交付金事業で、今年度で打ち切りとなります。「食」「文化」を観光振興にあて、グリーン・ツーリズムを推進していく予定で、今年の2月28日に「第1回食と文化の交流イベント」を開催し、郷土弁当、スイーツ、語りの中間発表を行いました。今年度は、来年1月29日に「第3回食と文化の交流イベント」を開催し、郷土弁当、スイーツ、語りの完成発表を行う予定です。2月28日のイベントにご夫婦で参加された渡邊部会長、感想等がありましたらお願いいたします。

(渡邊副部会長)

当日は、色々な食品を試食することができ、妻と「多摩地区で弁当として売れるものができるといいね」と話していました。また、青梅の民話を題材にした「語り」を聞き、青梅に帰ったら地元の人にも聞かせてみたいと思いました。

(事務局)

有り難うございました。文化交流という面で、平野副会長から補足をお願いいたします。

(平野副会長)

この事業は、2年間にわたり、農林水産省関東農政局からの交付金で行われます。

2年間は国のお金で商品を開発し、3年目以降は販売に繋げていきますが、試作中の今、地元の皆さんから様々なご意見をいただきたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。先週行われた第1回地域経済活性化部会でも同じ議論が行われました。その中で、日本経済新聞社・友山支局長から、「和歌山の熊野古道では案内(看板)が充実しているのに、奥多摩ではほとんどない。ひとつのストーリーが必要だ」とお話していただきました。参考になるかはわかりませんが、何かご意見があればお願いいたします。

(渡邊部会長)

思いつきですが、弁当ができると飲み物が欲しくなります。多摩地区には日原鍾乳洞がありますし、小澤酒造さんも良い水があるようです。ミネラル・ウォーター的な多摩地区の水を売りにしても良いのではないのでしょうか。また、青梅市には柚子も沢山あります。妻が、韓国産の柚子ジャムを買ってきたのですが、青梅産があっても良いのではないかと思いました。

(小澤様)

飲み物は、工場がないとできません。うちの酒造は国税局の管轄下でやっていますが、ミネラル・ウォーターだと厚生省の管轄になり、うちではできません。水の基準は、薬事法に近いと言われていて、簡単に手が出せるものではありません。現在、奥多摩の原水を売っていますが、山梨県で製造しているようです。山梨県は、東京都よりも基準が甘いそうです。

柚子については、郷土弁当の中に、ちとべさんの柚子を入れる予定ですが、それだけではなく、デザートや土産のようなものも考えていくべきだと思います。

(平野副会長)

食や飲み物に関する条例をご存じの方がいらっしゃると頼もしいですし、何か問題にぶつかっても上手くクリアして更に前に踏み出せると思いますので、小澤さんには今後ともよろしく願いいたします。

ほかに何かご意見等ございませんか。

(JTB横内様)

地域の食材による町おこしは今やトレンドとなっていますが、難しいのはPRです。企業であれば、CM等でお金をかけてPRできますが、非営利団体はそういう訳にいきません。今チャンスとしては、国体があります。今年はイベントで来年は本番

です。JTBでも、行政と話をし、国体が終わっても一過性に終わらないように、地域の食材や町おこしをしていく予定です。以前、国体もしくは高校総体でハンドボール競技の会場になった町で、地域の食材で選手におもてなしをし、選手や親が好印象を持ちました。その後、その町で全国大会を継続的に開催することに成功し、地域の活性化に繋がったという話もあります。我々もビジネス・チャンスとして、国体に期待をしているところです。

(平野副会長)

トップツアーの方も、旅行の観点からご意見がございましたらよろしく願いいたします。

(中屋様)

私自身は、多摩地区の方が地区外に出て行かれるお手伝いをしておりますが、地方の各支店については、地域と一体になってお客様を招き入れるお手伝いをしているところもあります。今年はスカイツリーがオープンになり、地方から東京を訪れる方が多くなっていますが、その方々に多摩地区にも目を向けていただけるようなPRを考えていければと思います。

(山崎副会長)

数日前の話ですが、朝日新聞で「多摩川のアユが史上最高の遡上数になった」と報道がありました。アユを食材に使えば、宣伝はすでにしてきています。多摩川の天然アユを食べた方は少ないと思います。今回の奥多摩郷土弁当は、多摩川上流域の食材をメインに考えていると思いますが、せっかくマスコミが大々的に報道していますので、中流・下流のアユを使用するのであればご協力できると思います。

(平野副会長)

新たな食材のアイデアをいただき、有り難うございました。他に何かご提案等ございますか。ないようでしたら、次に進めます。事務局の方から説明してください。

(3) 多摩川教育河川事業について【資料12】

(事務局)

- ・ 多摩川教育河川事業の「多摩川っ子第5号」は現在編集中で、7月10日頃に水辺の各活動団体あるいは学校、教育関係者に配布できる予定です。また、フォーラムの夏の定例イベントとして、7月21日に子どもカヤック体験教室、8月17日に炭焼き体験と水辺の交流会を開催します。また、イベントの総決算として、12月8日に子ども環境シンポジウムを予定しています。

- ・今日は議論する時間がないので、前年度までの模様はホームページのビデオレターを見ていただき、「今年度はこうしたほうが良いのではないか」というご意見がありましたら、事務局の方にお寄せください。

(3) その他

(事務局)

今日、オブザーバーでご参加いただいている NPO 特定非営利法人 地球野外塾の海老澤様から今日の感想を含めて、手短にご説明をお願いいたします。

(海老澤様)

「多摩川カヌー探検隊」は、今年で7回目になります。青梅市御岳から大田区羽田までの約84kmをカヌーで下る4泊5日のイベントです。5回目までは「多摩川環境調査隊」という名称で、途中7ヵ所でガサガサや水質検査を行っていましたが、活動の内容が分かりにくいという理由で、分かりやすいネーミングに変更しました。これはフラグシップ的なイベントですが、他にも色々な活動を行っています。

多摩川は身近な存在ではありますが、多くの人にとって橋を横断するだけ、見るだけの川になっています。また、水の事故が発生すると、行政は子どもたちを川に近付けないようにしがちです。そんな多摩川の実情を、上流から下流へと縦に繋げることで、また、初心者でも気軽に本格的なカヌーのキャンプに参加できるようにすることで、意識の変化を促したいと思っています。しかし、集客の面において苦労しており、皆さんにご支援、ご理解、ご協力をお願いしたいと思っています。

(事務局)

続きまして、山崎副部長から出版物のご紹介をお願いいたします。

(山崎副部長)

冗談で言っていた「タマゾン川」が本になりました。私が小学校等の出前授業で話していることを一冊の本にまとめました。夏休みの多摩川学習ネタが基本になっています。昨日発売されましたが、学校の一部では、夏休みの指定図書に選ばれました。「タマゾン川」は読み物ですが、「多摩川のおさかなポスト」は絵本になっています。宣伝ですが、よろしくをお願いいたします。

5. 部長総括・閉会（部長）

(渡邊部長)

本日は、大変お忙しい中をお集まりいただき、有り難うございました。「多摩川夢の桜街道」「東北・夢の桜街道」の今年度の事業はすでに完了し、環境についても水

質調査はすでに終了しました。多摩川がきれいになってきたという証拠として、産業労働局からの発表資料には、「多摩川のアユ遡上1千万匹」とありました。これは、昨年の2倍となっています。現在は、「多摩川“水”大学講座」が開講中です。小倉副会長が6回に亘って授業を行いますが、2回目まで終了しました。私も受講しています。こういった、地域の指導者の養成は、非常に重要だと思います。指導者を養成することにより、活動が広がっていくと思いますので、ぜひ今後も続けていきたいと思ひます。

(平野副会長)

本日は、大変お忙しい中をお集まりいただき、有り難うございました。以上をもちまして、平成24年度・第1回教育文化・環境清流合同部会を終了いたします。

以 上